

# 東小だより

発行：中川東小学校

TEL88-3011 Fax88-3074

第10号 R7.12.12

【文責：棚秋佳典】

## 「東小ってたのしい!」と、子らがもっと感じられるようにするために ～ 東小をよくするアンケートの結果から ～

標記アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。保護者の皆様のご回答集計結果と子らの回答集計結果をご覧ください。

### 保護者アンケート結果(左側) 回答数: 63 件

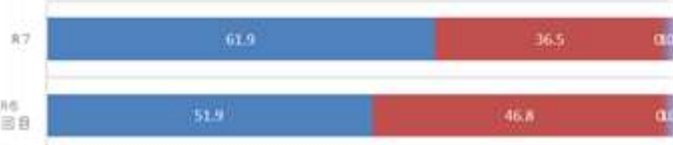
アンケート実施日 11月14日～27日

凡例 A (青) そう思う  
B (赤) だいたいそう思う  
C (緑) あまりそう思わない  
D (紫) そう思わない

※上段 本年度(R7)・下段 昨年度(R6 11月実施結果) グラフ内数値は割合(%)

#### ①お子さんは楽しく学校へ通っていますか

■A ■B ■C ■D



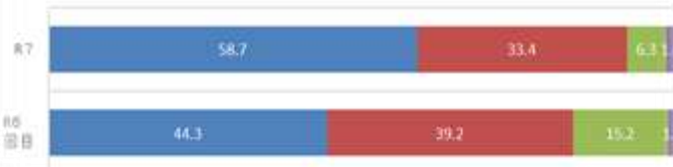
#### ②お子さんは授業がわかりやすいと言っていますか

■A ■B ■C ■D



#### ③先生はお子さんを励ましたり勇気づけたりする言葉がけをしていると思いますか

■A ■B ■C ■D



### 児童アンケート結果(右側) 回答数: 83 件

アンケート実施日 11月17日～28日

凡例 A (橙) そう思う  
B (黄) だいたいそう思う  
C (水) あまりそう思わない  
D (緑) そう思わない

※グラフ内数値は割合(%)

#### 児童 問1 学校に来るのは楽しいですか

■A ■B ■C ■D



#### 児童 問2 授業はわかりやすいですか

■A ■B ■C ■D



#### 児童 問3 先生はほめたり認めたりしてくれますか

■A ■B ■C ■D

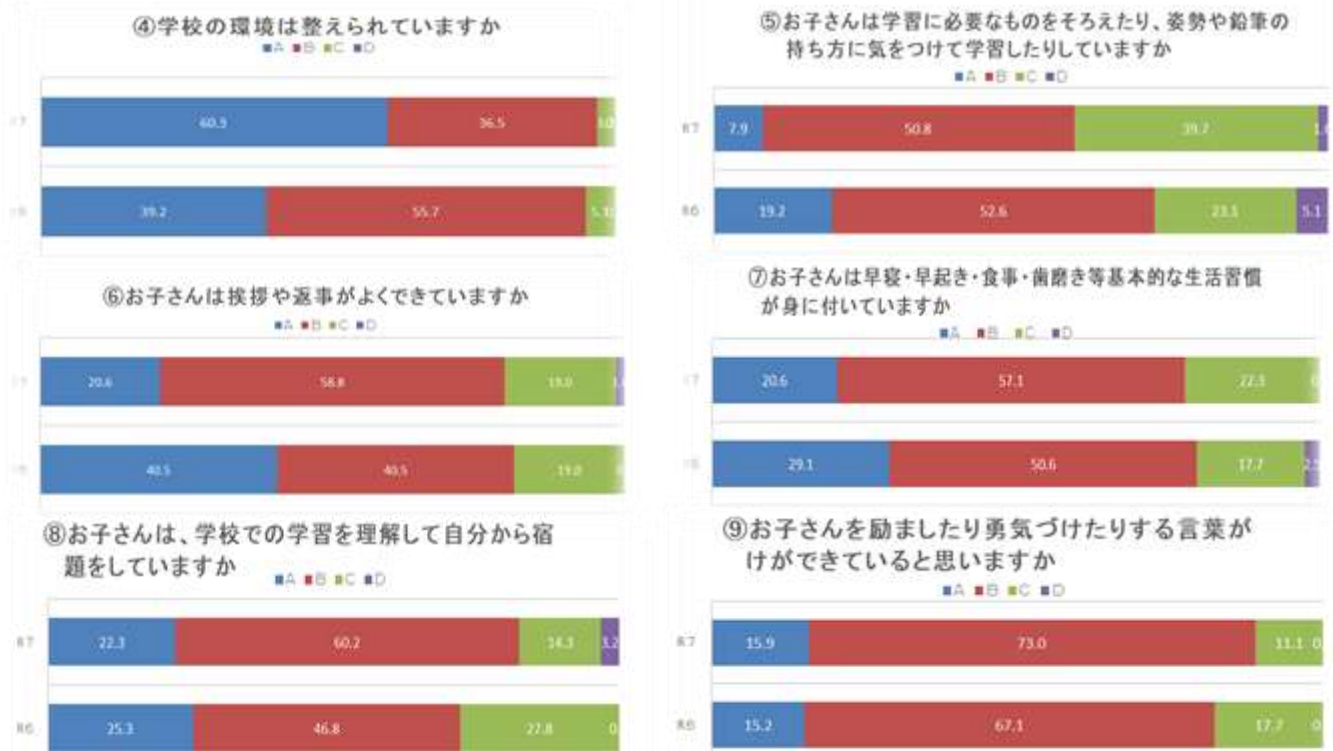


### Ⅰ「学校は楽しいですか」児童、保護者の方のとらえから

私たちは上に示した3つのアンケートの項立てを本年度東小づくりの重点ととらえ、取り組んできました。特に東小を全ての児童が「楽しい」と感じられる場にしたいという願いとその具現のための実践は、東小づくりの土台であり、根っこである

ととらえ、教職員一同努めてまいりました。回答された多くの児童と保護者が①の問いに「そう思う」「だいたいそう思う」を選んでくださったことは大変うれしく思っております。

一方、児童と保護者の中には「楽しくない」と感じていらっしゃる方がおります。そういった現状を直視し、私たちはこれからも全ての児童、そして保護者の方が「東小は楽しい」と感じられるよう努めます。取組の具体として、「学級」が子どもひとりひとりの「居場所」となるために、自他を受容し、認め合える場としての「話し合い活動」、学級に所属するひとりひとりの持ち味がいかされ、そして学級みんなで解決し、創り上げる「みなかたタイム」、基礎・基本的な学力の定着を図る「ドリルの時間」そして、子どもが主人公となる「授業」づくりと実践、これらの充実に、教職員一同、これからも尽力してまいります。



子らの学校でのくらはしは、ご家庭のくらしが基盤となっております。引き続き、温かなかかわりをお願いいたします。

## 2 保護者の方からのご意見、ご要望にかかわって

### (1) PTA 活動にかかわって

児童減少による地区の児童数の差が出ている現状を踏まえ、本年度、安富会長さんより、令和8年度役員の方に来年度の部の人数の調整を行う働きかけを行っていただくことを、過日のPTA理事会で認められました。また5年後に開校する新しい義務教育学校立ち上げに向けて、中川西小学校、中川中学校のPTA役員とも検討しながら、3校で部の統合を行っていきます。また、役員の男女のしほりについて、既に県PTAではそのしほりをなくす方向で動いており、それを受けて上伊那PTA事務局も県PTAと同様の方向で動き始めようとしています。この件も含めまして、中川村3校PTAで検討し、今後の中川村PTAのあり方について来年度以降、示していきます。

### (2) 体育的行事にかかわって

運動会のリレー、マラソン大会、運動会後の体育的行事についてご意見を賜りました。運動会の種目に関しては、本年度も全ての子どもが活躍でき「楽しい」と感じられる種目を子どもと教職員で考え、創り上げてきました。来年度も本年度同様に行う予定であります。その検討の中で「リレー」という選択肢が子らと先生方から上がってきましたら検討していきます。運動会には他者との比較による相対的な優劣を感じられる側面はございますが、全ての子どもが楽しいと感じられる場となるのが一番の目的ととらえており、その実現のためにこれからも努めていきます。

新しい義務教育学校では「ふるさと中川学（仮称）」という教育活動を学校の中核活動として位置付け、行う予定です。それは既に村からのプレスリリースで存じている方もいらっしゃるかと思います。東小は「ふるさと中川学」の可能性を探り、検証していく場としても「みなかたタイム」（「みなかた米づくり」も）を位置付けています。「みなかたタイム」の充実のために、「マラソン大会」事前、当日、事後に費やしてきた時間も充てています。PTA活動含め、今後、新たな義務教育学校に向けて様々なすりあわせを中川村3校で行いますが、その中でマラソン大会が新たな義務教育学校でも行いたいという願いがあれば、今後行っていく必要があると考えます。

運動会後の健康増進、体力向上のための取組につきましては、朝の活動「フレンド」や「スポーツ」の時間、そして保健体育の授業をとおしてさらに取り組んでいきます。

### (3) 学校徴収金徴収にかかわって

現在、東小も含め中川村3校はJAバンクを徴収金のお引き落としとして利用させていただいております。

さて、標記にかかわってですが、「他行も利用できたら」というご要望がございました。ご要望のようにメインで利用されている銀行口座からの引き落としの方が安心・確実であることは十分理解しております。ただ、JAバンクと他行とではインターネットバンキングの制度等が異なり、もしも他行も含めて徴収となりますと、事務処理が非常に煩雑となります。現在、東小の徴収金窓口と事務処理対応は事務職員1名で行っております。そのため他行も含めての徴収金対応は非常に難しいです。どうか現状をご理解いただき、引き続き現行の対応をお願いいたします。

東小の教育活動や先生方の居方について、肯定的で温かなご意見を賜り、深く感謝申し上げます。昨今、全国的に教職員の対応に関する保護者・地域社会からの要求が増大しており、その対応に疲弊している教職員は少なくありません。そんな時流の中、東小の保護者の方からいただいた評価やお言葉は、私たちの勇気となっております。至らない点はひとりで済ますから誰にもございますが、上記「1」で述べたように私たちはこれからも全ての子どもと保護者の方が「東小は楽しい」と感じられるよう努め、追求していきます。引き続き、温かく東小の教育活動を眼差しいただきますよう何卒お願いいたします。